

高速道路区域内の一時避難場所となる 進捗状況は

近藤 純子

答
新居見トンネル坑口の上部に
避難場所を整備する

近藤 高速道路の整備を災害に強い地域づくりに活かしてほしい。大規模な新居見トンネルは市内から大勢の方が避難できる。進捗状況は。

都市整備部長 高速道路を活用した一時避難場所の確実な整備に加え、さらなる一時避難場所の造設に向け実現に取り組む。

通学路を含め、歩行者・自転車交通の安全対策を

近藤 学校周辺、特に国道55号の樹木帯未整備の死角解消、安全性に向け、歩行者・自転車環境

の整備を求めるが。



視覚を遮る植樹帯

白線の途切れた自転車横断帯



都市整備部長 小松島内の中学校周辺の県道小松島佐那河内線の交差点から田野川までの区間を、道路植樹帯を改良し、防

護柵を設置した自転車通行空間の工事に着手する。

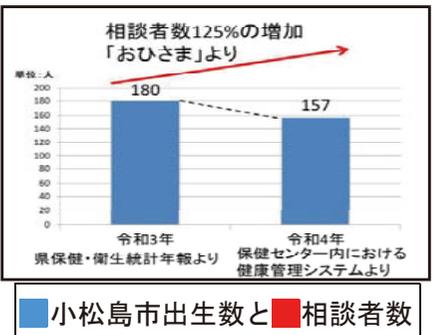
近藤 町内会・自治会が管理の街路灯は高齢化に伴い対応に困っている。また、二条通り、三条通りは重要な幹線道路である。交通事故の防止につながる有意義な街路灯の増設を強く望むが。

都市整備部長 国が示す道路照明施設設置基準に準拠し、交通信号機の設置された交差点、危険な場所の局部照明を必要とする特別な場所に道路照明灯を設置する。



安心して産み育てるための手厚い支援体制を

近藤 妊産婦の方が安心して産み育てるため、助産師・保健師を増やし、さらなる支援体制を。



保健福祉部長 助産師・保健師の専門職の在り方について研究し、より良い支援提供に努める。

誰もが暮らしやすいまちづくりの実現を

近藤 快適で便利な生活を営めるコンパクトシティに向けた基本方針を。



都市整備部長 コンパクトなまちづくりと交通情報ネットワークの連携による効率的な街の形成を、実効性ある計画とする。

近藤 安全・快適に自転車利用できるまちに向けた計画づくりを望むが。

市長 安全で快適な自転車の利用環境整備が求められている。市民・民間企業及び行政が一体となつて、自転車活用を推進するため、新たな施策として、小松島版の自転車活用推進計画を策定し、積極果敢に取り組む。

